

知って
いますか?

上手な薬局のかかり方

薬局にかかる際は、少し工夫するだけで薬の管理や医療費の節約に役立てられます。
上手な薬局のかかり方を知っておきましょう。

1 かかりつけ薬局をもとう

かかりつけ薬局をもつことで、薬の服用歴や副作用、アレルギーなどの情報の管理に加えて、市販薬とのみ合わせや薬のもらいすぎを予防できます。複数の病院を受診する場合も、薬局は1カ所にまとめましょう。かかりつけ薬局を選ぶ際は、健康について幅広い相談が可能な**健康サポート薬局**を探してみましょう。



健康サポート薬局の
目印はこちら!



2 お薬手帳を持参しよう

お薬手帳は、自分が服用している薬の情報を記録するものです。受診時などに医療機関や薬局で提示することで、薬のみ合わせや副作用の確認、重複投与の予防に役立ちます。スマホのアプリ版であれば、外出先で受診の際もすぐに提示できるので便利です。

マイナ保険証を使うことで※、医師や薬剤師はより的確な情報に基づいて治療や服薬指導を行えるため、安全な医療を受けられます。



※診療や健康情報などの提供に同意した場合

3 ジェネリック医薬品を活用しよう

ジェネリック医薬品は新薬の特許が切れたあとに同じ有効成分を使って製造される医薬品のことです。ジェネリック医薬品には新薬開発のコストが含まれないため、新薬と比べて低価格で購入できます。また、国の審査により、新薬と同等の効果・効能があることが認められています。医療の質を下げることなく価格を抑えられるため、ぜひ活用しましょう。

差額のイメージ

脂質異常症の薬を1日1錠1年間服用した場合

先発医薬品: 15,768円

ジェネリック: 8,366円

差額
7,402円

※薬代のみを3割負担で計算 (小数点第1位を四捨五入)

新薬により近い **AG (オーソライズド・ジェネリック)** をご存知ですか?

AG (オーソライズド・ジェネリック) とは、先発医薬品のメーカーから許諾を得て製造されたジェネリック医薬品のことです。有効成分に加えて、原薬、添加物、製造方法などが先発医薬品と同じ薬です。通常のジェネリックと同様に価格が抑えられており、先発医薬品と同等の効果と安全性が確認されています。

リフィル処方箋でさらに節約

リフィル処方箋は、指定された期間内に最大3回まで使用できる処方箋のことです。症状が安定している患者について医師が可能と判断した場合に発行されます。2回目以降は医療機関を受診せずに薬局で薬を受け取れるため、通院のための移動時間や待ち時間の削減、医療費の節約につながります。

症状が安定している人は
医師にリフィル処方箋の利用を
相談してみましょう。

